

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ:次回発信日は4月4日週報(予定)

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「東日本を中心に牛乳の消費は低調～継続的に消費喚起を～」

- ・3/18週の牛乳類の販売個数は、前週(3/11週)と比較して牛乳と加工乳は若干増加したものの、成分調整牛乳と乳飲料は減少した。西日本では平年より気温が高く消費が伸びた地域もあったが、東日本や北日本では寒い日が続いたため消費が伸び悩んだものと推察される。
- ・飲用需要が低調な状況で、学乳が休止する春休み期間に突入した。乳製品工場はフル稼働を継続することで学乳再開までの期間の生乳処理を行う計画だが、製造トラブルなど不測の事態が生じた場合には厳しい状況が想定される。生乳の完全処理に向けて酪農乳業界は一丸となり、消費喚起対策や配乳調整に取り組む必要がある。
- ・家庭用バターの販売個数は一進一退で推移しており、販売単価は2月中旬をピークにやや下落し、3/11週には再び上昇していたが、3/18週は下落に転じ2月下旬ごろと同水準に戻った。
- ・はっ酵乳の販売個数は、すべてのカテゴリーで前週から減少した。ドリンクタイプは前週まで3週連続で増加していたが、3/18週は減少となり、2週ぶりに2021年度の水準を下回った。季節ニーズに対応した製品などが停滞したことが要因と推察される。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先

- 「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>
- 「20,040のチカラ」 <https://www.j-milk.jp/news/Power20040.html>
- 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009qbz.html>

【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(3/18週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:96.9%、成分調整牛乳:83.4%、加工乳:同102.3%、乳飲料:同96.6%。

牛乳類トータルでは同96.0%

※参考:2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は88.6%。

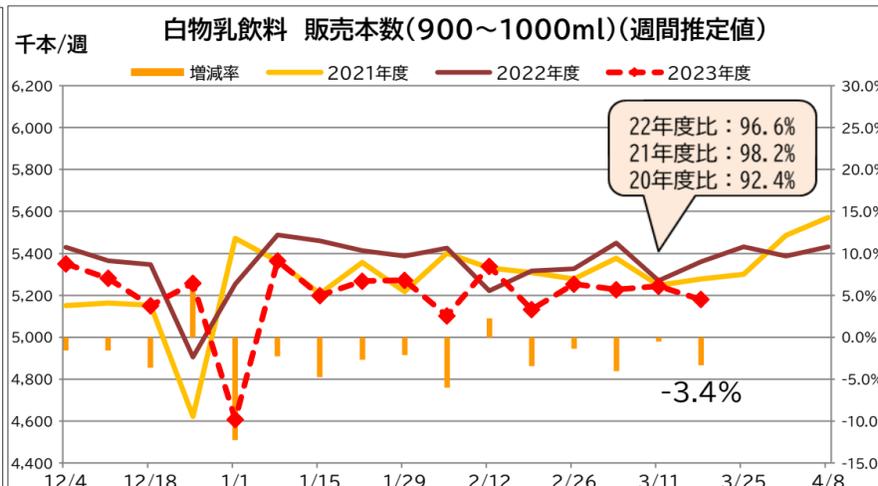
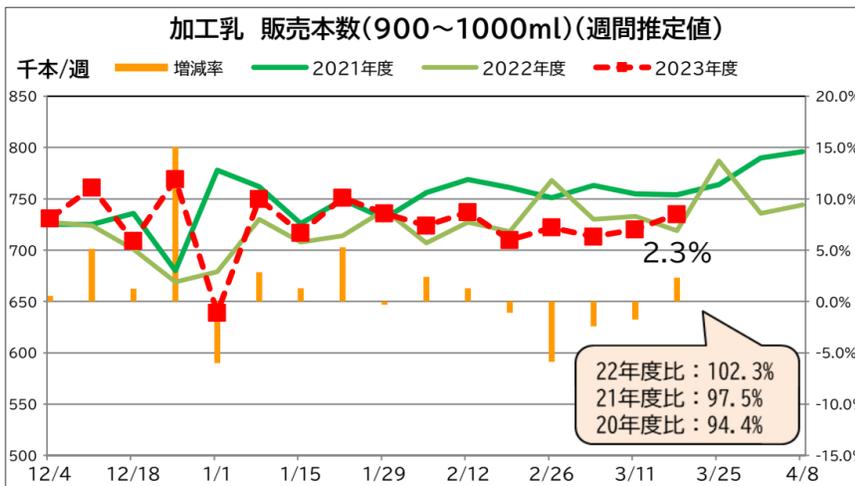
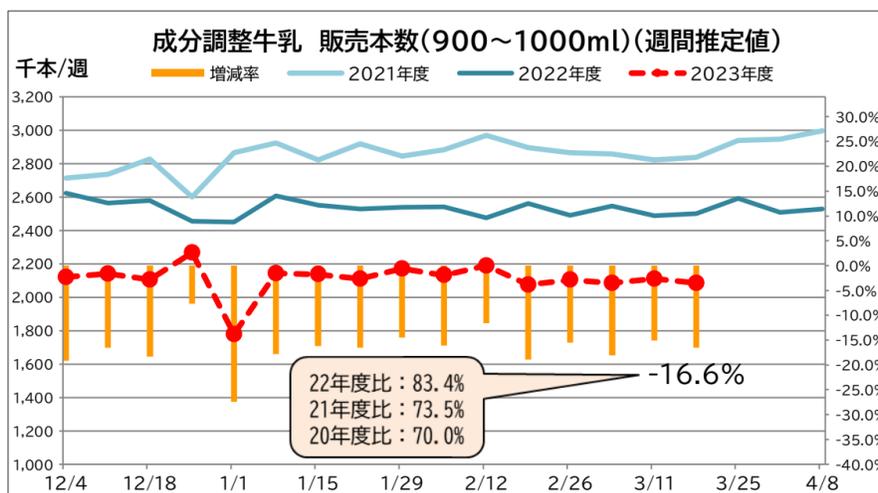
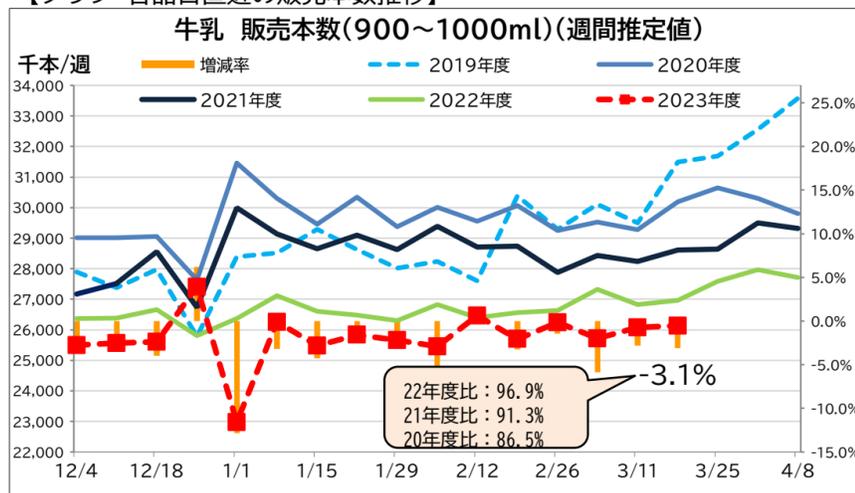
・販売単価は、牛乳:225.5円、成分調整牛乳:208.4円、加工乳:218.8円、乳飲料:173.8円。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	1.29-	2.5-	2.12-	2.19-	2.26-	3.4-	3.11-	3.18-	24.3.18- 22.10.24 価格差	24.3.18- 23.3.20 価格差	24.3.18- 23.7.24 価格差
		販売個数	33,845	33,408	34,726	33,618	34,322	33,751	34,148	34,132	33.2	18.3
トータル	販売個数前年比	96.8	94.1	99.7	95.6	97.5	93.6	96.7	96.0			
	販売単価	216.5	216.7	216.5	216.6	216.2	216.2	216.2	216.4			
牛乳	販売個数	25,666	25,450	26,461	25,698	26,243	25,724	26,073	26,131	35.2	18.9	17.7
	販売個数前年比	97.6	94.9	100.3	96.8	98.5	94.1	97.2	96.9			
成分調整牛乳	販売個数	2,172	2,132	2,190	2,076	2,104	2,086	2,111	2,086	34.7	19.8	15.2
	販売個数前年比	85.5	83.9	88.4	81.1	84.5	82.0	84.9	83.4			
加工乳	販売個数	736	724	737	710	722	713	720	735	27.9	17.6	7.0
	販売個数前年比	99.6	102.4	101.3	98.9	94.1	97.6	98.2	102.3			
乳飲料	販売個数	5,271	5,103	5,339	5,133	5,253	5,228	5,244	5,180	24.1	14.3	9.6
	販売個数前年比	97.8	94.0	102.3	96.5	98.6	95.9	99.5	96.6			
	販売単価	173.4	174.0	173.8	173.5	173.2	173.5	173.9	173.8			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の動向

直近(3/18週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上(3品目合計:前年同期比90%以上)。

(2)販売個数について、前週(3/11週)より全てのカテゴリで減少した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

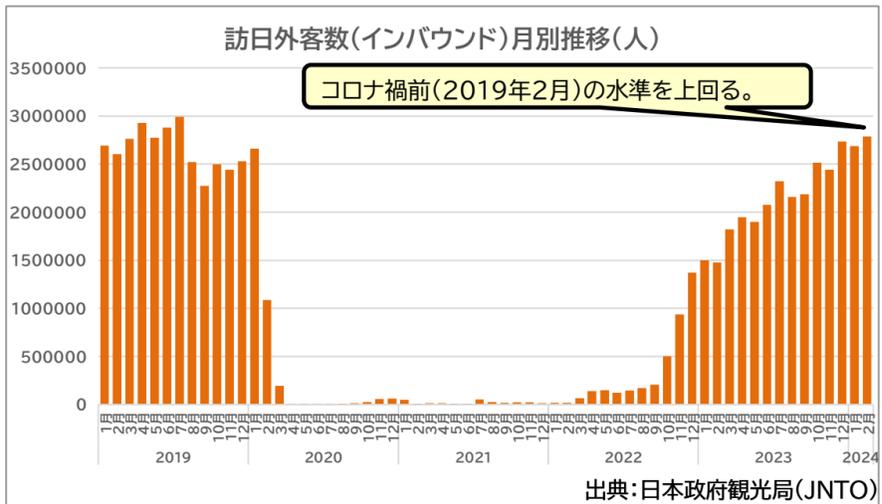
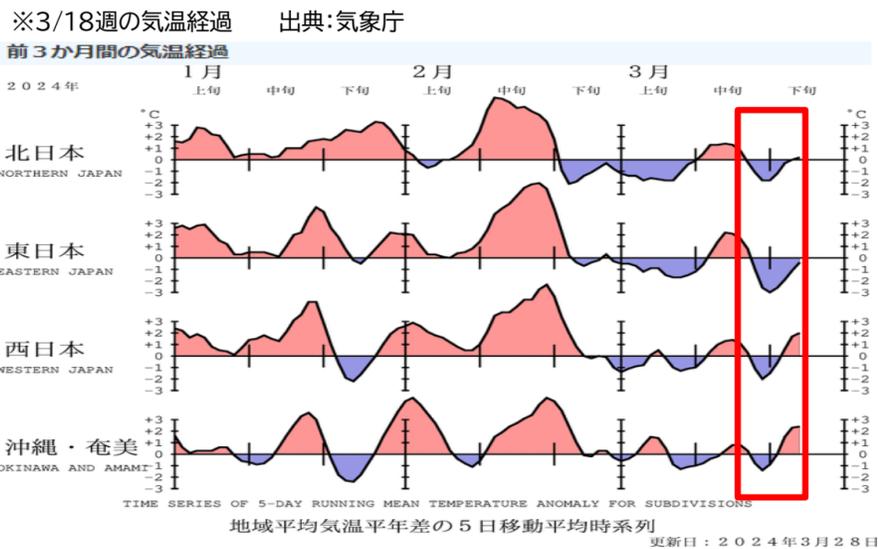
品目	1.29-	2.5-	2.12-	2.19-	2.26-	3.4-	3.11-	3.18-
ドリンクタイプ	↓	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	→	↘	↘	↘	→	↘

- ↓ : 前年比90%未満
- ↘ : 前年比90%以上100%未満
- : 前年比100%以上105%未満
- ↙ : 前年比105%以上110%未満
- ↑ : 前年比110%以上120%未満
- ↗ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(千個)



※「2023年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」